



SPEEDFLAT

／未来のものを考える
デザインプロジェクト

参加大学：

金沢美術工芸大学
首都大学東京
湘南工科大学
女子美術大学
多摩美術大学
法政大学
武蔵野美術大学

2019年4月24日(水)ー6月8日(土)

休館日：日曜・祝日 開館時間：10:00ー17:00(入館は16:30まで)

入館料：無料 会場：女子美アートミュージアム

主催：SPEEDFLAT展実行委員会 後援：相模原市、相模原市教育委員会

協力：女子美術大学美術館、AXISギャラリー

SPEED FLAT

／未来のものづくりを考える

デザインプロジェクト

金沢美術工芸大学 首都大学東京
湘南工科大学 女子美術大学
多摩美術大学 法政大学 武蔵野美術大学

「SPEED FLAT」は、デザインコンセプトを考える上で、
足がかりとなるいくつかの社会性の高いテーマがあり、
表現者は、テーマから得たインスピレーションを手立てに
デザインプロジェクトを進めます。
この企画展は、2016年よりAXIS GALLERYの協力を得て、
発表された様々な成果物でこれまでの振り返り、
新作を通じて今後の未来のものづくりを考える展覧会です。

2019年
4月24日(水)ー6月8日(土)

休館日:日曜・祝日 開館時間:10:00ー17:00 (入館は16:30まで)

入館無料 主催:SPEEDFLAT展実行委員会

後援:相模原市、相模原市教育委員会 協力:女子美術大学美術館、AXISギャラリー

◎公開講評会 4月24日(水) 16:30ー18:00
会場:女子美アートミュージアム ※申込不要・会場入り口付近にお集まりください

◎オープニングレセプション 4月24日(水) 18:15ー
会場:女子美術大学 10号館 1F 1011スタジオ ※どなたでもご参加いただけます

◎ギャラリーツアー 4月26日(金) ①14:00 ②15:30 各回40分程度
講師:藤原大(多摩美術大学 教授)
※申込不要・会場入り口付近にお集まりください。

◎AXISデザインラウンドテーブル 5月24日(金) 19:00ー21:30
「ものづくりの未来ースピードフラットの可能性」ラウンドテーブル後ネットワーキングあり。
スピーカー:岡田栄造(京都工芸繊維大学 教授)、藤原大(多摩美術大学 教授) 他
会場:AXISギャラリー(東京都港区六本木5丁目17-14F)
料金:1500円 ※4月中旬よりPeatixにて申し込み開始
お問い合わせ: gallery@axisinc.co.jp 詳細は、4月中旬以降 www.axisinc.co.jp をご覧ください。



金沢美術工芸大学

物理的なスピード化・フラット化に加え、思考のスピード化・フラット化など、様々な切り口からの提案を試みた。各自定めたコンセプトを元に、素材調達も含め、衣服を中心にライフスタイルの未来のあり方を示唆した。

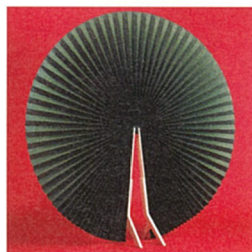


多摩美術大学 テキスタイルデザイン専攻
「街中で手軽に買えるTシャツは、自分が50歳になる未来にはどうやって作られているのか?」この問いを掲げて進める「Tシャツプロジェクト」、ホテルを通じて観光と着衣をつなぐ提案をする「クライアントプロジェクト」、そして「サイズからはじめるプロジェクト」。この3つのデザインプロジェクトを調査考察統括作・コミュニケーションのプロセスにしたがって、提案をする。

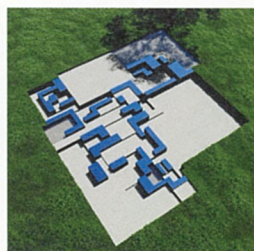


首都大学東京

コンビニエンスストアで売っている商品をA4サイズにしてみたら、これまでと異なる流通のSPEEDは生まれるだろうか? はたまた、さまざまな場所にあるストリートファニチャーを風景に馴染ませることで、フラットな景色は作れるだろうか? 何気ない日常、そこに少し制約を与えてみたら、我々の暮らしはSPEED FLAT化するだろうか? そのようなことを基点とした思考のプロセスデザインをお見せします。



多摩美術大学 プロダクトデザイン専攻
移動時・収納時にコンパクトになること。それは、私たちの生活の中で道具の利用できるシーンを大きく広げてくれる。テーマとしたのは「TATAMU」。元来3D的な形状をつくるには難しさのある平面材や柔らかな材を、構造や形状の工夫によって3D形状に保持できるようにしたアプローチを含めて作品提案している。



湘南工科大学

Regrounding、既存の公園の地表面を削ることで生み出されるレリーフ状空間、そして新たに生成し直される地表面、地表面の活性化計画。
Relapping、都市空間に点在する野外彫刻を覆うことで生み出される奥行き、その表面に開けられた穴から裏返る内外、野外彫刻のための鞘装計画。



法政大学

拡張する照明／コンパクトなサイズから一瞬にして拡張する構造と、その転用を考えるプロジェクト。
既存の器物で用いられる拡張構造を発展させ、新たな照明器具へと展開する。また、拡張による変形が同時に光の量や質、照射範囲を変化させるなど、照明器具の機能性を強化することを試みている。



女子美術大学

閃いた瞬間に指を動かし、フィニッシュまで一気に仕上げることを可能にするモバイルオフィス。スマートフォンの出現は、現代社会における人々の働き方に大きな変化をもたらした。彼女たちの生活にはもはやON & OFFは無く、そのボーダレスな気分を可視化した。



武蔵野美術大学

・「スピードフラット」に対する独自のアプローチを各自探ること。
・ありきたりなデザイン論を展開しないこと。
・新鮮なアイデアを採用すること。
・一歩先を見せること。

お問い合わせ:

女子美アートミュージアム

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900 女子美術大学 相模原キャンパス
Tel:042-778-6801 Fax:042-778-6815

E-mail:museum@venus.joshibi.jp URL:http://www.joshibi.net/museum/
アクセス:

①小田急線相模大野駅北口3番バス乗場より神奈川中央交通「女子美術大学」行き乗車約20分
※平日・土曜日午前10時前は伊勢丹デパート横グリーンホール前4番バス乗場より乗車
②JR横浜線古淵駅2番バス乗場より神奈川中央交通「女子美術大学」行き乗車約15分
※車でこ来場の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください



JAM 美
JOSHIBI ART MUSEUM